

横浜市福祉サービス第三者評価
評価結果報告書
パレット保育園・牛久保西

平成28年12月

評価実施機関

特定非営利活動法人

よこはま地域福祉研究センター

目 次

実施概要.....	1
評価結果についての講評.....	2
分類別評価結果.....	4
評価領域Ⅰ 利用者（子ども本人）の尊重.....	4
評価領域Ⅱ サービスの実施内容.....	7
評価領域Ⅲ 地域支援機能.....	11
評価領域Ⅳ 開かれた運営.....	12
評価領域Ⅴ 人材育成・援助技術の向上.....	13
評価領域Ⅵ 経営管理.....	15
利用者家族アンケート分析.....	16
利用者本人調査.....	20
事業者コメント.....	22

◆ 実施概要 ◆

事業所名	パレット保育園 牛久保西
報告書作成日	平成28年11月15日 (評価に要した期間4ヶ月間)
評価機関	特定非営利活動法人 よこはま地域福祉研究センター

*評価方法

1. 自己評価	【実施期間：平成28年7月19日～9月16日】 ・全体会議時に趣旨等を説明し、常勤、非常勤すべての職員が取り組んだ。 ・個々の自己評価をもとに会議等で意見交換し、まとめた。 ・その後、施設長がまとめ、職員全員に配布し、確認した。
2. 利用者家族 アンケート調査	【実施期間：平成28年7月11日～7月25日】 配 付：全園児の保護者（53家族）に対して、園から手渡しした。 回 収：保護者より評価機関に直接返送してもらった。
3. 訪問実地調査	【実施日：平成28年10月20日、10月21日】 ■第1日目 午 前：各クラスの保育観察～園児と一緒に昼食をとる。 午 後：書類調査／事業者面接調査（施設長） ■第2日目 午 前：各クラスの保育観察～園児と一緒に昼食をとる。 午 後：職員ヒアリング調査 (副施設長・保育士3名・非常勤保育士1名・新入保育士1名・栄養士1名) 事業者面接調査（施設長）
4. 利用者本人調査	【実施日：平成28年10月20日、10月21日】 ・訪問実地調査の両日とも各クラスの午前中の保育時間を中心に、食事、排せつ、午睡の状況、登降園の様子等を観察。 ・乳児については主に観察調査、幼児については観察と食事の時間等に適宜聞き取り調査を実施。

◆ 評価結果についての講評 ◆

【施設の概要】

パレット保育園牛久保西は、横浜市営地下鉄線「センター北駅」から14分ほど歩いたところにあります。平成27年(2015年)4月に株式会社理究によって開設されました。周囲は静かな住宅街で多くの公園があり自然環境に恵まれた立地となっています。

園は、1階に0、1、2歳児の保育室、調乳室、沐浴室、乳児用トイレ、事務室があり、2階に3、4、5歳児の保育室、給食室、幼児用トイレ、多機能トイレがあります。幼児の各保育室はスライドドアで仕切られていて、誕生日会や行事等のときは、ホールとして使っています。広い芝生の園庭があり、子どもたちは転ぶことを恐れず走り廻ることができます。朝夕の送迎に使用する玄関前の駐車場は車を10台停めることができ、保護者がゆっくり登降園の準備をすることができます。

定員は60名(生後6ヶ月過ぎから就学前まで)です。延長保育を実施していて、開園時間は7時00分～20時00分、土曜日は8時00分～16時00分です。

保育理念は、『“ひとりひとりに生きる力を！” 1. ひとりひとりを「大きな家族」の一員として認め、役割を認識させ、愛情を持って育てます。2. ひとりひとりの子どもを見極め、発達段階に応じ、「感性・知性・体力を培う」三位一体のバランス保育・教育を信条として育てます。3. ひとりひとりが意欲的な生命力を発揮できるよう「自立と自尊と自律」の精神を大切に育てます。』と定め、保育の方針は、『「保育所保育指針」に準じ、保育・養護の視点と発達・教育の視点で、「健康」・「人間関係」・「環境」・「言葉」・「表現」の五領域を縦断的にとらえ、子どもの成長に合わせ、子どもの力を最大限に引き出すよう努めます。』としています。

1. 高く評価できる点

●子どもたちは保育士に見守られ、元気にのびのびと園生活を送っています

園の周囲には大小多くの公園があり、四季の変化を楽しみ、時には遠くの公園にも子どもたちは散歩に出かけています。公園では5歳児の縄跳びしているのを見て、保育士に教えてもらい挑戦する4歳児や、氷鬼のルールがわからない3歳児に4、5歳児がやってみせ3歳児が楽しそうに参加するなど、元気に遊んでいる姿が見られます。保育室からすぐ出られる園庭では時間があるときに短時間でも外で体を動かすことができます。乳児はボールを転がし、追いかけたり、よーいドンで向こう側まで走ったりしています。幼児はボールを蹴ったり、ダイナミックに走ったり追いかけていたりしている姿が見られます。園では発達に応じて運動能力を高められるよう運動プログラムを作成して実施するなど子どもたちが活発に、元気に遊ぶ環境が整えられています。

乳児クラスでは発達に応じて少しずつ自分のことが自主的にできるよう保育士は働きかけています。幼児クラスでは保育士との関わりの中で生活の流れをつかみ、自分でできることを増やしていきます。子どもたちは年齢に応じて生活習慣を身につけ、保育士は見守って子どもができないところを手助けしています。また、子どもの表情やしぐさを見て子どもの気持ちを代弁したり、言葉でうまく自分の思いを表現できない子どもに対しては、励まして言葉を足したりして子どもの気持ちを引き出すよう配慮しています。このように子どもたちは、「大きな家族」の一員として保育士に見守られ、のびのびと園生活を送っています。

●施設長を中心に職員が連携して、より良い保育を行うよう取り組んでいます

日々の保育や、毎月の全体会議などで、施設長の助言をもとに理念に立ち返り、職員同士が振り返りを行う仕組みができています。子どもやクラスの状況について振り返り、次月の計画につなげています。職員は毎年、年度初めに「スタッフできたかな表」(自己評価表)に個人目標と研修計画を記入し、年2回、達成度の評価を行っています。研修を受けて向上した点を記載し、施設長のコメントをもらうなど自己研鑽

に努め、モチベーションを高めています。また、研修も盛んで、園外研修や全園研修にも積極的に参加し、それを基に園内研修も実施され、研修の成果が保育に活かされています。

園では、正職員と非常勤職員の区別なく、会議や研修に出席し、昼礼ミーティングや引継ぎノートなどで連携を密にしてどの保育士でも同じような対応ができるように努めています。保育士は全体会議や週ミーティングなどで子どもの情報を共有することで、担当クラス以外の子どもの様子を知り、異年齢にいるときも声を掛けあい、見守る姿勢ができています。利用者家族アンケートでも、クラスに関係なく名前で声を掛けてくれる、多くの職員に見守られ子どもが保育園を楽しんでいると支持する声があります。

●各種の書類が整備され、保育の記録を有効的に活用しています

園は各種マニュアルや記録などの書類が整備されています。乳児の「生活チェック表」は、毎日の食事の摂取量、睡眠時間、排便の時間・状態などをチェックし、その日の様子が一人一人具体的に記載され、子どもたちの毎日の様子を丁寧に記録しています。「離乳食面談シート」では、保護者と面談しながら必要なことを漏らさず記入し、「成長発達記録『こんなに大きくなりました』」は、1年を4期に分けて健康（健康生活、運動）、人間関係（情緒、社会）、言葉（話す、聞く、理解する）、表現（感性、意欲、創造性）などの細かい項目について記録され、次年度への課題などと併せて記載し、子どもたちの成長が一目で解るようになっています。また、これらの記録とともに「保育者引継ぎ連絡表」は園児の日常の様子、食事、排泄、など保育の参考になる注意点を記載し、次年度の担任に申し送りされる際に活かされています。職員は「人権感覚チェックリスト」の虐待や差別、性差、言葉使いなどの項目をチェックすることで日々の保育の振り返りをすることができます。より良い保育を行うためのマニュアルや書類が整備されています。

2. 独自に取り組んでいる点

●「パレット学習タイム」を実施しています

専門講師と保育士が連携して、毎週1回「パレット学習タイム」の時間を設けています。0歳児から5歳児まで年齢に応じて20分間から40分間集中して取り組んでいます。元気な挨拶で始まります。プロジェクターを使った壁面に広がる大きな画面の絵本を子どもたちは見えています。その後、0歳児は指先を使ってシールをはがしたり、乳児はクレヨンの筆圧や描き方、紙の押さえ方、数の数え方などを教えてもらっています。子どもたちは絵本の中の月の味を空想して色を塗ったり、長い・短いを手を広げて気付いたり、同じ形を探したりしています。5歳児は絵本を通して教えてもらったことを講師にたずねられ、考えたことを言葉にして答えるなど発達に応じて経験しています。この取組を通して、子どもたちの「言葉」や「表現」を引き出すよう努めています。

3. 工夫・改善が望まれる点

●さらなる地域子育て支援への取組が期待されます

町内会に加入し、職員が地域の盆踊りや行事に参加する等、地域住民との交流を通して保育園に対する要望などを把握するよう努めています。育児相談日は週1回設けており、相談日以外でも見学时等、随時受け付けるよう配慮しています。このように、園は地域に根ざした保育園を目指して取り組んでいますが、今後は、さらに、園が培った育児に関する知識、職員の豊富な経験と技能を活かして、離乳食の進め方、読み聞かせの方法、幼児体操などをテーマに講習・研修会を開催したり、育児相談の案内について周知方法を工夫するなどの取組が期待されます。

◆ 分類別評価結果 ◆





3つ：高い水準にある / 2つ：一定の水準にある / 1つ：改善すべき点がある


評価領域 I 利用者（子ども本人）の尊重


評価分類 I-1 保育方針の共通理解と保育課程等の作成	評価結果
<ul style="list-style-type: none"> • 保育理念は、『“ひとりひとりに生きる力を！” 1. ひとりひとりを「大きな家族」の一員として認め、役割を認識させ、愛情を持って育てます。2. ひとりひとりの子どもを見極め、発達段階に応じ、「感性・知性・体力を培う」三位一体のバランス保育・教育を信条として育てます。3. ひとりひとりが意欲的な生命力を発揮できるよう「自立と自尊と自律」の精神を大切に育てます』と定め、理念を基に保育の方針を『「保育所保育指針」に準じ、保育・養護の視点と発達・教育の視点で、「健康」・「人間関係」・「環境」・「言葉」・「表現」の五領域を縦断的にとらえ、子どもの成長に合わせ、子どもの力を最大限に引き出すよう努めます。』としており、子ども本人を尊重したものとなっています。 • 職員は保育理念や保育の方針を年度初めの全体会議（園内会議）や全園研修時に読み合わせをして確認し、理解しています。保育理念は、園のしおり、パンフレットに掲載し、園内にも掲示しています。 • 保育課程は子どもの発達過程に沿って、養護、教育、食育などの項目ごとに作成されていて、子どもの最善の利益を第一義にし、家庭の状況や地域の実態、周囲の自然環境等を考慮して作成しています。 • 保育士は子どもたちに問いかけ、子どもの表情やしぐさ、言葉などから子どもの意向を汲み取っています。子どもたち一人一人が考えを言葉で表現できるよう、言葉かけしたり、励ましたりしています。子どもの意見や意思を尊重して指導計画を見直し柔軟に対応しています。例えば、体を動かすなど目的に合わせて遊ぶときに子どもの意見を取り入れてリトミックに変更する等、柔軟に対応しています。 	

評価分類 I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施	評価結果
<ul style="list-style-type: none"> • 入園説明会のときに母子手帳等をもとにして保護者と面接を行なっています。面接時に子どもの生育歴や家庭での状況を聞き、入園までに提出された書類で状況を把握しています。 • 子どもの様子や保護者の状況に合わせて、保護者と話し合い、短縮保育（ならし保育）を実施しています。0、1 歳児の新入園児に対しては、受け入れ時などの主担当保育士を決め、安心できるよう配慮しています。全クラスで連絡ノートを使用し、一日の子どもの様子について保護者への丁寧な連絡を心がけています。保護者も家庭での様子を記入して相互に理解を深めています。 • 月間指導計画や個別指導計画などは、子どもの発達や状況に応じて作成し、評価や見直しをして、次の計画を作成しています。また、評価・改訂にあたっては、面談などで保育に対する保護者の意見を聞き、意向を反映するよう心がけています。 	


評価分類 I-3 快適な施設環境の確保	評価結果
	
<ul style="list-style-type: none"> • 園内・外の清掃は、マニュアルに沿って行われ、清掃チェック表で確認し、常に清潔に保たれています。空調設備、扇風機、空気清浄機などで常に通風・換気等に留意していて気になる臭いはありません。施設内の温・湿度は各保育室に温・湿度計を置き、定時に確認し、エアコン・加湿器などで調整して適切な温・湿度管理をしています。保育室の開口部は大きく、陽光を十分に取り入れています。 • 沐浴室に沐浴設備と温水シャワーの設備があります。沐浴・温水シャワーは使用時だけでなく、チェック表に基づき定期的に清掃しています。 • 各保育室は食事をする場所と睡眠する場所の空間を分けて使用しています。 • 朝夕の合同保育、毎月行われる誕生日会や行事等、異年齢で交流できるスペースがあります。年長児が0歳児と遊ぶ時間を持つなど、日常的に異年齢で交流する機会を作っています。 	


評価分類 I-4 一人一人の子どもに個別に対応する努力	評価結果
	
<ul style="list-style-type: none"> • 0、1、2歳児については、子どもの生育歴や心身の発達を考慮して、個別指導計画を作成しています。個別の目標・計画については、クラス担任同士で常に話し合っています。また、週ミーティングや職員会議でも一人一人の子どもの様子について話し合い、柔軟に計画の変更や見直しを行っています。個別指導計画の作成・見直しにおいて、保護者と個別に面談をする等、十分な説明を行い、同意を得て作成しています。 • 子どもや家庭の個別の状況・要望は決められた書式に記録しています。また、入園後の子どもの成長発達記録は、個人別記録表『こんなに大きくなりました』と児童健康台帳に記載しています。子どもの記録内容は事務所のロッカーに保管し、職員間で共有しています。重要な申し送り事項については、食事、排泄、午睡等、日常の様子が記入された「引継ぎ表」をもとに前担任が進級時の担任に伝達しています。 	


評価分類 I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み	評価結果 
<ul style="list-style-type: none"> ・特に配慮を要する子どもを積極的に受け入れる姿勢があります。特に配慮を要する子どもの個別のケースについては、クラスや週ミーティング、全体会議（園内会議）で話し合わせ、記録しています。 ・園内は段差がなくバリアフリーとなっていて、エレベータや多機能トイレを備えています。 ・保護者の同意を得て、都筑区こども家庭支援課や横浜市北部地域療育センターから助言や情報を得る等、専門機関と連携しています。また、職員は横浜市、都筑区などが主催する障害児保育についての研修に積極的に参加しています。研修に参加した職員は、報告書を記入して回覧し、全体会議で発表する等、職員間で学習し、話し合える体制になっています。 ・虐待に関するマニュアルが整備されています。職員は「人権感覚チェックリスト」を活用して年1回人権を大切にすることを意識し職員が気を付けることなどについて、振り返りを行なって確認しています。虐待が明白になった場合などは都筑区こども家庭支援課などの関係機関に迅速に通告・相談する体制ができています。虐待が疑わしい場合や見守りが必要な場合は都筑福祉保健センター（ケースワーカー）と連携をとり情報を共有しています。 ・アレルギー疾患のある子どもについては、かかりつけ医の指示を受け、適切な対応をしています。食物アレルギーについては、医師の「生活管理指導表」を提出してもらい、保護者と常に連携を取って、食材の確認をして除去食を提供しています。除去食を提供する場合には、前日の昼礼で翌日分の確認、当日朝は事務所内の献立で再度確認をして、名札を付け、色を変えたトレーで提供します。テーブルや椅子、台ふきんなども色分けして使用するなど誤食事故を防止するための工夫をしています。 ・外国籍など文化の異なる子どもに対しては、食習慣の違い等、日本の文化や生活習慣を無理強いすることなく、考え方の違いを認め尊重しています。保育園のクリスマス会で外国籍の保護者にサンタクロースを演じてもらい、英語で会話してもらうことで子どもたちが、ほかの国の言葉があることを知るなど、違いがあることを理解できるよう配慮しています。 	


評価分類 I-6 苦情解決体制	評価結果 
<ul style="list-style-type: none"> ・要望・苦情受け付けについて記載された「保育園しおり（重要事項説明）」を保護者に配布して、入園説明会等で説明しています。苦情受付担当者は副施設長とし、苦情解決責任者は施設長となっています。第三者委員2名を定め、園のしおりに氏名と連絡先が明記されていて、保護者は直接苦情を申し立てることができます。意見箱を設置し、懇談会や個人面談などでも保護者の意見・要望を聞いています。 ・要望や苦情を受け付けて、対応するための方法等や第三者委員を交えて対応する仕組みについては、『「苦情申出窓口」の設置について』として、文書化されています。 ・日常会話などで寄せられた保護者の要望や苦情は、迅速に施設長や副施設長に報告する体制ができています。保護者の意見、要望については全体会議（園内会議）で対応を話し合っています。また、過去の苦情・要望の記録は、「意見・要望等の受付書」に記入し、データ等を蓄積・整理して解決に活かしています。 	


評価領域Ⅱ サービスの実施内容


評価分類Ⅱ－１ 保育内容【遊び】	評価結果
	
<ul style="list-style-type: none">• 保育室や園庭、散歩先の公園などで自分の好きな遊びができる時間が十分あります。ブロックを使ったごっこ遊びやカードゲーム、プラレールなど、数人で遊んだり、1人で粘土制作をしたり、静かに絵本を読む等、好きなことをしています。保育士は遊んでいる様子を見て臨機応変に活動時間を変更しています。今後はさらに年齢や発達にあわせて教材やおもちゃの種類を増やすことなどが期待されます。• 保育士は年齢に応じて、わらべ歌を楽しんだり、鬼ごっこを楽しんだりして、一緒に遊ぶ楽しさを知らせ、友達関係やルールを守ることなどが、子どもたちにわかるように配慮しています。活動に入れない子どもには無理強いせず、見守り、声をかけています。• 園庭の一角でミニトマト・ゴーヤ・ナス・ラベンダーを栽培しています。幼児クラスは水やりや世話をし、収穫した野菜を給食に出してもらいました。またカブトムシを幼虫から飼育し、卵を産ませる等、野菜や昆虫を育てることで世話をすることの責任を感じたり、生き物の生態を知るなど、保育活動にフィードバックしています。• 子どもの年齢に合わせて自由に表現できるように、体操や歌を取り入れたり、制作や描画などのときは、保育士が必要以上に言葉かけをしないように配慮しています。• 朝夕の時間を中心に異年齢の子ども同士が関わりを持てるようにしており、一緒に散歩に行ったり、5歳児は0歳児の部屋に遊びに行ったりしています。• フープやぽっくり、ボールなどはいつでも使うことができるようにテラスに置いてあります。また、年齢に応じて、遊びながら運動面の発達を促すプログラムがあり、活動に取り入れています。	


評価分類Ⅱ－１ 保育内容【生活】	評価結果
	
<ul style="list-style-type: none"> ・楽しく食べることを第一に考え、子どもたちの体調や好みも考慮し、完食の喜びを味わえるように適量を配膳しています。残すことを叱ったり、無理に食べさせることはありません。また、一人一人の食べるペースを大切にしながら、食事の援助をしています。 ・子どもたちが栽培した野菜を給食に使用したり、食育の時間には野菜を切る、ゆで卵をつぶす等の調理体験をしたり、5歳児は配膳をする等、食事やその過程に関心を持つように取り組んでいます。 ・旬の食材を使い、季節感のある献立作りを心がけています。野菜などを型で抜いて、見た目からも食欲が湧くように盛り付け等も工夫しています。 ・栄養士は子どもの好き嫌いについて、毎日の残食状況や担任からの報告で把握しています。また、実際に子どもたちが食べている様子を見て、言葉を交わし、味付けや調理方法の工夫をしています。 ・給食だよりには献立作成のポイントや「家でできる食中毒予防」、「夏バテ予防」、物語メニューや誕生会のケーキの紹介等を掲載し、保護者に情報提供をしています。また、子どもたちに好評だったメニューのレシピが玄関に置かれ、保護者が自由に取ることができます。 ・保育士は、絵本や紙芝居を寝る前に読むなど、子どもたちが気持ちを落ち着けて午睡に入れるように配慮しています。部屋は、ほどよい暗さにし、入眠時には身体をさすったり、子守唄を歌ったり、抱っこしたりして、心地よい眠りに入れるように工夫しています。 ・トイレトレーニングは、園での様子を連絡ノートに記入して保護者に伝える等、家庭と連携を取りながら、個別に対応しています。また、日常の保育の中でも一人一人の排泄のリズムを大切に、一斉に声をかけるのではなく、個人のペースを尊重して行っています。 	

評価分類Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理【健康管理】	評価結果
	
<ul style="list-style-type: none"> ・健康管理に関するマニュアル、感染症への対応マニュアルがあります。 ・毎朝登園したらその場で保護者が検温しています。保育士は子どもの様子をよく見て保護者にも確認し、変わったことがあった場合は引き継ぎ表に記入し、クラス内で共有しています。 ・入園時に既往歴や予防接種等の情報を児童健康台帳に記載しています。保護者からは常に新しい情報を得られるようにし、その都度会議等で知らせ、職員間で共有しています。 ・健康診断の結果に基づき、嘱託医やかかりつけ医と、日頃から連携を取っています。また、都筑福祉保健センターの保健師にも日常的に相談ができる体制がとられています。 ・感染症が発症した場合は病名、人数、症状、予防法等を掲示して、速やかに保護者に情報を提供しています。 	

評価分類Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 【衛生管理】	評価結果
	
<ul style="list-style-type: none"> • 衛生管理に関するマニュアルがあります。 • マニュアルは年度末に職員全員で読み合わせ、見直しを行っています。また、改善点等については、会議で随時話し合いを行い、見直しをしています。 • マニュアルに基づき、トイレ、保育室、調理室等は清掃され、園内は清潔で適切な状態が保たれています。 	

評価分類Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 【安全管理】	評価結果
	
<ul style="list-style-type: none"> • 安全管理に関するマニュアルがあります。 • 避難訓練の年間計画表があり、毎月１回、地震や火災、不審者対応等の訓練を行っています。年に一度、地域の避難場所まで行く訓練もしています。保護者には災害時伝言ダイヤルを周知し、メールで一斉送信して状況を伝える訓練もしています。 • 保護者の緊急連絡先、診察科目別の医療連絡先、警察署、消防署、都筑区役所、法人本部等連携機関との連絡体制は確立されています。 • 職員は年に２回、法人本部で行われる救急救命研修に参加して、乳幼児の救急救命法について、学んでいます。 • 子どものケガ等は、事故報告書に記録し、職員会議等で再発防止を検討しています。また、系列園全園の事故報告書を法人本部でまとめ、各園にフィードバックし、職員の再発防止への意識を高めています。 • 玄関扉は、セキュリティカードで開錠するようになっており、園庭入口も施錠してあります。また、警備会社と契約しており、緊急連絡体制が確立されています。 	


評価分類Ⅱ－3 人権の尊重	評価結果
	
<ul style="list-style-type: none"> • 保育士は子どもの気持ちや発言を受け入れられるように配慮しています。言葉がうまく伝えられない子どもには態度や表情から気持ちを汲み取っています。 • 子どもの人格を辱めたり、自尊心を傷つけるようなことはありません。子ども一人一人の気持ちを大事にすることを職員は認識しています。「人権感覚チェックリスト」を用いて常に気をつけ、職員間でも相互に配慮しています。 • 必要に応じて、仕切りや衝立、ロールスクリーン等を使用して、子どものプライバシーが守れる場所を用意するようにしています。 • 個人情報に関する記録やパソコンは施錠できる場所に保管管理をしています。 • 遊びや行事の役割、持ち物、衣装や制作物等で性差による区別はしていません。子どもたちがやりたいことや好きな物を選べるよう配慮しています。 	


評価分類Ⅱ－4 保護者との交流・連携	評価結果
	
<ul style="list-style-type: none"> • 入園説明会や年度末の懇談会で、保護者に保育の基本方針を説明しています。 • 保育士は送迎等の際、引き継ぎ表に基づき、保護者に子どもの様子を伝えるようにしています。また、1日の活動の様子をクラスごとに記載して掲示しています。 • 6月と1月に個別面談を実施しています。面談前にアンケートを取り、保護者の意向や家庭での様子を把握して面談を行っています。 • 保護者からの相談は適切に対応できるように配慮し、施設長を含め、複数で面談を行ったり、相談を受けた職員が助言を受けられる体制になっています。 • 行事や日々の活動の様子を撮った写真は、ホームページにアップして、保育の様子を伝えています。保護者はパスワードを利用して閲覧することができ、写真を購入することもできます。 • 年に1度、保育参観、保育参加、パレット学習タイムの参観ができます。保護者が日程を調整しやすいよう、それぞれ複数日を設けています。 • 運営委員会には幼児クラス、乳児クラスから1名ずつの保護者の代表が参加しており、コミュニケーションをとっています。 	


評価分類Ⅲ－１ 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供	評価結果
	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会に加入していて、地域の盆踊りやどんと焼きに職員が参加し、保育園に対する要望などを把握するよう努力しています。 ・地域の子育て支援ニーズについては、年度末に職員間で話し合っています。また、見学者等から得た情報などをもとに、随時職員間で話し合う場を持っています。 ・今後は、定期的な園庭開放の実施や子育て、保育に関する講習・研修会を開催等、保育園の専門性を活かした子育て支援サービスを地域に提供することが期待されます。

評価分類Ⅲ－２ 保育所の専門性を活かした相談機能	評価結果
	<ul style="list-style-type: none"> ・育児相談日は週に１日設けています。また、相談日以外や見学時でも随時受け付けていますが、相談日等の周知方法について、さらなる工夫が期待されます。 ・相談内容に応じて必要な関係機関、地域の団体等はリスト化されており、職員の誰もがわかる場所に掲示されています。都筑区こども家庭支援課や都筑福祉保健センター、近隣の医療機関などとは日頃から連携が取れています。

評価領域Ⅳ 開かれた運営

評価分類Ⅳ－1 保育所の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ	評価結果
	
<ul style="list-style-type: none">・近隣の散歩では挨拶を欠かさず、町内会に加入し、地域の行事に職員も参加しています。また、園の行事には地域住民を招待し、近隣との友好的な関係を築くよう取り組んでいます。・子どもたちは、日常の散歩で近隣の人たちと接するほかに、幼児クラスは花の苗や植木鉢、食育で使う食材を近隣の店舗で買い物をするなど、積極的に地域と交流する機会を設けています。・町内会館で行われる老人会の茶話会に4、5歳児が参加する予定がありますが、開園2年目のため、まだ地域の団体、機関と定期的に計画的に交流するまでには至っていません。また、施設開放や備品の貸し出し等いつでも提供する用意はありますが、まだ実績はありません。	


評価分類Ⅳ－2 サービス内容等に関する情報提供	評価結果
	
<ul style="list-style-type: none">・入園のしおりやホームページなどに保育理念や方針、サービスの内容、年間行事予定、料金など必要な情報を掲載しています。・希望者には見学ができることをホームページ等で案内しています。見学申し込みについては、24時間インターネットから予約できる仕組みがあります。・見学日や時間は設定してありますが、見学者の都合に合わせ、設定日以外の日程や時間でも対応しています。・見学時には施設長や事務職員が、保育所の基本方針や利用条件・サービス内容等について、入園のしおりやタブレットを用いて、説明しています。	

評価分類Ⅳ－3 ボランティア・実習の受け入れ	評価結果
	
<ul style="list-style-type: none">・ボランティアや実習生を受け入れるためのマニュアルがあり、受け入れにあたり基本的な考え方や方針を十分理解できるよう職員に説明しています。受け入れや育成の担当は施設長となっていますが、開園2年目ということもあり、まだ実績はありません。・今後はボランティアや実習生を積極的に受け入れていくことが期待されます。	


評価領域V 人材育成・援助技術の向上


評価分類V-1 職員の人材育成	評価結果
<ul style="list-style-type: none"> 法人本部人材育成課で人材育成計画が立てられ、理念・方針をふまえた保育を実施する人材を計画的に育成する取組が実施されています。職員は『スタッフできたかな表』（自己評価表）を用いて、毎年年度初めに資質向上に向けた目標を定め、年2回達成度の評価を行っています。 園としての研修計画のほか、個々の職員は『スタッフできたかな表』（自己評価表）で研修計画を作成しています。研修担当者の施設長はそれぞれの個人別年間研修計画にアドバイスをして職員のモチベーションを高めています。 職員は、横浜市主催研修、都筑区主催研修のほか、法人本部主催の研修や系列園での研修などに積極的に参加しています。研修に参加した職員は研修報告書を提出するとともに全体会議（園内会議）で発表して職員間で共有し、研修の成果を保育に活かしています。 非常勤職員にも業務マニュアルが配布されています。非常勤職員は正規職員と同様に全体会議（園内会議）に出席し、内部研修や外部研修にも参加して資質向上の取組を行っています。非常勤職員の日々の保育の指導担当者は各クラス担任と副施設長が務め、職員間のコミュニケーションが図られています。 	


評価分類V-2 職員の技術の向上	評価結果
<ul style="list-style-type: none"> 職員は、『スタッフできたかな表』（自己評価表）の書式に記載して自己評価の振り返りを年2回実施しています。保育園としての自己評価『保育所の自己評価表』は、保育内容、人権尊重、利用者への配慮、個人情報保護、苦情処理、特別な支援を要する児童への対応、衛生・環境整備などの項目に達成率、今年度の取組、問題点、今後の課題を記入するなど計画的に自己評価を行なう仕組みを持っています。また、職員が参加した研修会の事例や施設長が出席する施設長会議で得た他園の取組や良いサービス事例などを全体会議（園内会議）で学ぶ機会を設けています。 保育士等一人一人が振り返りを文章化できるように、年間指導計画、月間指導計画、週案などの指導計画や日誌などの記録は書式が定型化されています。自己評価は意図した保育のねらいが達成されたか記入し、クラスや会議で話し合っ確認しています。保育士等一人一人が自己評価を行い、自己評価の振り返りを次の計画に反映させています。 保育士等の自己評価を全体会議（園内会議）などで報告し、意見交換しています。全体会議（園内会議）などで自己評価を話し合い、園としての課題を明らかにして改善に取り組んでいます。例えば、行事を振り返り、課題を明らかにして改善点を話し合い、次につなげています。 保育園としての自己評価『保育所の自己評価表』は、保育園の理念や保育の方針に沿って行われています。保育園の自己評価はホームページで公表しています。 	

評価分類V-3 職員のモチベーションの維持	評価結果
	
<ul style="list-style-type: none"> ・『育成計画シート』に経験・能力や習熟度に応じた役割が期待水準として明文化されています。 ・誕生日会、行事等、職員の希望や経験に応じて係が決められ、保護者対応を含め現場の職員に権限を委譲しています。判断に困った時は施設長が助言をし、最終責任は施設長にあると伝えています。 ・全体会議（園内会議）などで業務改善について話し合っています。職員間の風通しは良く、意見を言える仕組みが作られ、朝夕のシフトを見直すなど改善に向けた取組がされています。 	

評価領域VI 経営管理

評価分類VI-1 経営における社会的責任	評価結果
	
<ul style="list-style-type: none">・就業規則の服務規律で組織および職員が守るべき法・規範・倫理等を明文化しています。また、法人本部で研修を行うなど、職員に周知しています。・施設長は他施設での不正、不適切な事案を法人本部の会議や『運営要綱』で情報を得て、全体会議（園内会議）などで職員に周知し、それらの行為を行わないよう啓発しています。・ゴミ減量化とともに、牛乳パック・空き箱・ペットボトル・ラップの芯などを教材に活用するなど、再利用をしています。園庭に天然芝を敷いて横浜市緑化事業に取り組んでいます。また、こまめに電気を消す等、省エネルギーにも取り組んでいます。・環境配慮への考え方は中期事業計画に明記され、運営に活かされています。	

評価分類VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等	評価結果
	
<ul style="list-style-type: none">・保育理念と保育の方針を明記した園のしおりを全職員に配布しています。園内にも掲示し、施設長は全体会議（園内会議）などで、ことある毎に職員に理解を促すために説明しています。また、施設長は年2回の職員面談時や計画、日誌などに目を通して職員が保育理念や保育の方針を理解して保育などを実施しているか確認し、必要に応じて指導しています。・土曜保育時間の延長など重要な意思決定はもちろん、日常の保育についても運営委員会や懇談会、進級説明会などで施設長は保護者と継続的に意見交換をしています。・法人本部保育事業部育成課に主任クラスを計画的に育成するプログラムがあります。副施設長はクラスを持たず、各保育室を回り保育の支援をするなど保育の内容やそのほかの職務、個々の職員の業務状況を把握しています。副施設長は職員が良好な状態で仕事に取り組めるように、休憩時などに話を聞いて状況の把握に努め、相談にのっています。	

評価分類VI-3 効率的な運営	評価結果
	
<ul style="list-style-type: none">・法人本部は保育運営に影響のある情報を収集し分析しています。結果については施設長会議で話し合っています。施設長会議等で話し合われた情報を職員間で共有するため、施設長は全体会議（園内会議）などで報告し、職員の意見を聞いています。・法人本部で中長期的な事業の方向性を定めた計画を作成しています。次代の組織運営に備え、運営やサービスプロセスの新たな仕組みを常に検討し、会議や勉強会を通して施設長に伝えています。・次代の施設運営に備え、幹部職員を育成していく計画があります。	

◆利用者家族アンケート分析◆

【実施概要】

- 実施期間：平成28年7月11日～7月25日
- 実施方法：利用者全員の家族に対し、保育園から直接手渡して配付、評価機関に郵送で直接送付してもらった。
- 回収率：配付53件、回収31件、回収率58.5%
★文中の「満足度」は「満足」と「どちらかと言えば満足」の回答を合計した結果です。
「不満足」は「不満」と「どちらかと言えば不満」の回答を合計した結果です。

【結果の特徴】

- 園の保育目標や保育方針について「よく知っている」「まあ知っている」と答えた保護者の割合は、77.4%となっています。「よく知っている」「まあ知っている」の中で「賛同できる」(62.5%)「まあ賛同できる」(33.3%)を合わせて95.8%です。
- 項目ごとの全設問37問中、満足度が90.0%を超える項目は27問です。その内、満足度100%が8項目あります。満足度が高い項目は「自然に触れたり地域に関わるなどの園外活動」「遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もてている」「施設設備」「落ち着いて過ごせる」「不審者侵入を防ぐ対策」「園の様子や行事に関する情報提供」「園の行事の開催日や時間帯への配慮」「あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるか」の100%、「クラスの活動や遊び」「おもちゃや教材」「給食の献立」「お子さんへの体調の気配り」「あなたのお子さんが大切にされているか」の96.8%です。
- 比較的不満度の高い項目は、「保育園での一日の過ごし方の説明」の12.9%、「送り迎えの際、お子さんの様子に関する情報交換」の19.4%です。
- 総合的な満足度は「満足」が64.5%、「どちらかと言えば満足」が35.5%、合わせて100%と高くなっています。
- 自由意見欄には、「戸外に出る機会が多い」「子どもを大事に扱ってくれているように感じます。安心して子どもを預けることができます」「クラスに関係なく子どもたちの名前で声掛けして下さるのが好印象です」「子どもを見れば、本当に喜んでいるのがわかります」「常にオープンな雰囲気や質問や相談がしやすい」など感謝の言葉が複数寄せられています。
一方少数ですが、「感染症の発生状況が目立たず見落とすことがある」「担任以外からの情報がない」「口頭での報告をもう少ししてもらいたい」「忙しそうで声をかけづらい」などの意見が寄せられています。

パレット保育園 牛久保西 利用者家族アンケート集計結果

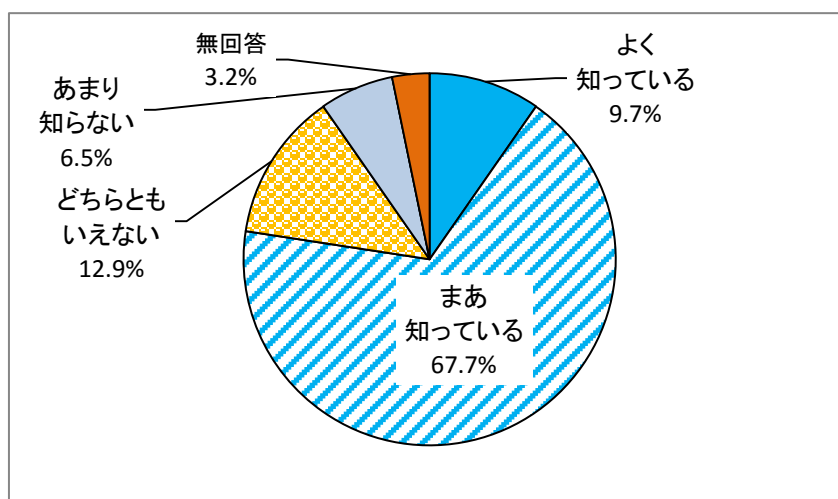
実 施 期 間	平成28年7月11日～7月25日
調 査 対 象	利用者家族
配 布 世 帯 数	53 件
有 効 回 答 数	31 件
回 収 率	58.5 %

お子さんのクラス	0歳児 クラス	1歳児 クラス	2歳児 クラス	3歳児 クラス	4歳児 クラス	5歳児 クラス	無回答	(人)
	2	10	10	7	1	1	0	

※2人以上在籍の場合、下のお子さんのクラスで回答

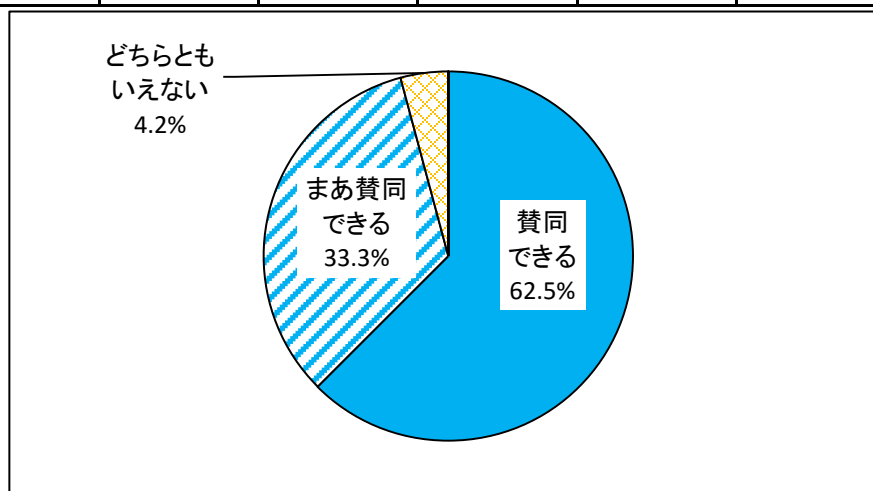
問1 保育園の基本理念や基本方針について

	よく 知っている	まあ 知っている	どちらとも いえない	あまり 知らない	まったく 知らない	無回答	(%)
あなたは、この園の保育目標や保育方針をご存じですか	9.7	67.7	12.9	6.5	0.0	3.2	



1 よく知っている 2 まあ知っている とお答えの方へ

	賛同 できる	まあ賛同 できる	どちらとも いえない	あまり賛同 できない	賛同 できない	無回答	(%)
付問1 あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか	62.5	33.3	4.2	0.0	0.0	0.0	



問2 入園する時の状況について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	(%)
見学の受け入れについては	41.9	16.1	6.5	0.0	35.5	0.0	
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	41.9	38.7	6.5	0.0	12.9	0.0	
園の目標や方針についての説明には	45.2	48.4	3.2	0.0	3.2	0.0	
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には	61.3	22.6	3.2	3.2	9.7	0.0	
保育園での1日の過ごし方についての説明には	48.4	35.5	9.7	3.2	3.2	0.0	
費用やきまりに関する説明については	58.1	35.5	3.2	0.0	3.2	0.0	

問3 保育園に関する年間計画について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	(%)
年間の保育や行事についての説明には	35.5	61.3	0.0	0.0	3.2	0.0	
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	19.4	67.7	0.0	0.0	9.7	3.2	

問4 日常の保育内容について「遊び」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	(%)
クラスの活動や遊びについては	64.5	32.3	3.2	0.0	0.0	0.0	
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	74.2	19.4	3.2	0.0	3.2	0.0	
園のおもちゃや教材については	64.5	32.3	0.0	0.0	3.2	0.0	
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	45.2	54.8	0.0	0.0	0.0	0.0	
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もてているかについては	54.8	45.2	0.0	0.0	0.0	0.0	
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	29.0	67.7	0.0	0.0	3.2	0.0	

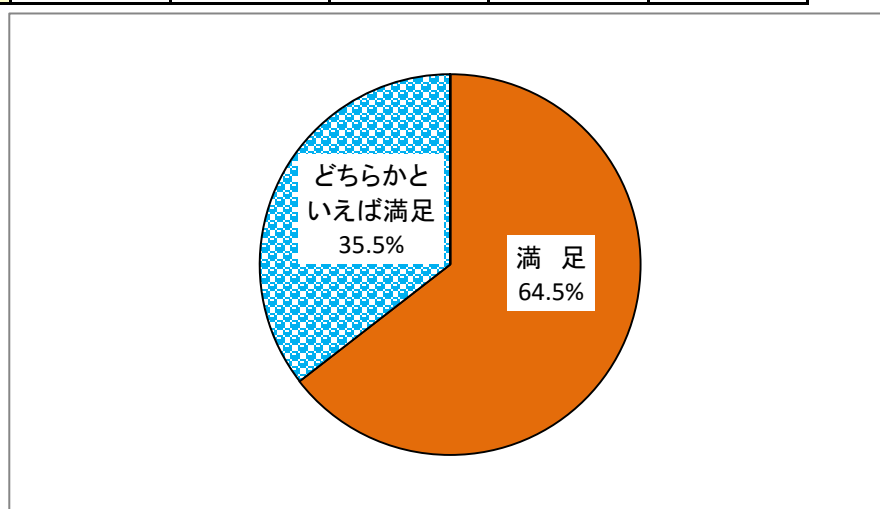
「生活」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	(%)
給食の献立内容については	77.4	19.4	3.2	0.0	0.0	0.0	
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	64.5	29.0	6.5	0.0	0.0	0.0	
基本的な生活習慣の自立に向けての取り組みについては	67.7	25.8	3.2	0.0	3.2	0.0	
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	58.1	32.3	9.7	0.0	0.0	0.0	
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	61.3	16.1	0.0	0.0	22.6	0.0	
お子さんの体調への気配りについては	74.2	22.6	0.0	0.0	3.2	0.0	
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	64.5	19.4	3.2	0.0	12.9	0.0	

問5 保育園の快適さや安全対策などについて	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	(%)
施設設備については	83.9	16.1	0.0	0.0	0.0	0.0	
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては	80.6	19.4	0.0	0.0	0.0	0.0	
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	54.8	45.2	0.0	0.0	0.0	0.0	
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	71.0	19.4	9.7	0.0	0.0	0.0	

問6 園と保護者との連携・交流について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	(%)
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	58.1	35.5	6.5	0.0	0.0	0.0	
園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については	64.6	35.5	0.0	0.0	0.0	0.0	
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	83.9	16.1	0.0	0.0	0.0	0.0	
送り迎えの際、お子さんの様子に関する情報交換については	38.7	41.9	12.9	6.5	0.0	0.0	
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	45.2	45.2	6.5	0.0	3.2	0.0	
保護者からの相談事への対応には	58.1	32.3	3.2	0.0	3.2	3.2	
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応については	54.8	29.0	3.2	3.2	9.7	0.0	

問7 職員の対応について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	(%)
あなたのお子さんが大切にされているかについては	64.5	32.3	3.2	0.0	0.0	0.0	
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	77.4	22.6	0.0	0.0	0.0	0.0	
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	51.6	12.9	0.0	0.0	32.2	3.2	
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	71.0	22.6	6.5	0.0	0.0	0.0	
意見や要望への対応については	51.6	41.9	0.0	0.0	6.5	0.0	

問8 保育園の総合的評価	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答	(%)
総合満足度は	64.5	35.5	0.0	0.0	0.0	



◆利用者本人調査◆

【実施概要】

- 実施日時：平成28年10月20日、10月21日
- 実施方法：午前中の保育観察時間を中心に、各クラスの観察を実施、また幼児とは会話の中で適宜聞き取り調査を実施。

●0歳児クラス

朝早くに登園した子ども2人は気持ちよさそうに午前寝をしています。その横で保育士と一緒に絵本を読んだりハイハイして遊ぶ子どももいます。午前寝から覚めたらみんなでバギーに乗って公園に散歩に行きます。公園では砂場で砂遊びをしたり、落ち葉を拾ったり、蝶々を追いかけてたりしました。子どもの指さしに保育士は丁寧に応えています。帰ってきたら給食です。手を洗い、テーブル付きの椅子に座ります。食事が運ばれてくるのが待ち遠しいようで、ワゴンの方を気にして、指をさし、「まんま」と声を出している子もいます。自分で食べられる副菜はテーブルに置かれ、手づかみで食べます。「おいしいね」「モグモグね」など保育士は声をかけながら、汁物などは援助しています。どの子どもたちも食欲旺盛でしっかり食べています。離乳食のあと、ミルクを飲む子どもは抱っこされてゆったりした雰囲気の中で飲んでいきます。食べ終わったらすぐに眠くなってしまふ子どももいます。食事とは別のコーナーに敷かれた布団の上でパジャマに着替え、身体をやさしくさすられてすぐに眠ってしまいます。

●1歳児クラス

おむつが濡れていない子どもはトイレに行って座ってみます。トイレで出た子どもは褒められ得意そうな顔を見せています。出なかった子どもには「また、あとで行ってみようね」と保育士は声をかけます。帽子をかぶり園庭で遊びます。靴下を自分で履こうと頑張っている子、手伝ってもらい履いている子、それぞれに合わせて保育士は声をかけたり、手助けしています。みんなが揃うまでテラスに座って手遊びをして待っています。遊ぶときの注意を聞いてから遊び始めます。ボールを出してみんなで追いかけます。サッカーのように蹴る子どももいれば、かかえて走る子どももいます。保育士に投げてもらい受けようと手を広げて待っている子どももいます。蝶々が飛んできたのを見つけて追いかけます。保育士が網で捕まえ、みんなは興味津々でのぞき込んでいます。園庭のフェンス越しにミキサー車とショベルカーが動いているのが見えました。何人かの子どもたちが釘付けになって動きをみています。子どもたちは好きな遊びをたっぷりして部屋に戻ります。

●2歳児クラス

園庭で遊ぶ前に「トイレに行きたい人は行ってください」と保育士が声をかけます。何人かの子どもは、「大丈夫～」とさっと帽子をかぶり、靴下を履き、準備しますが、何人かの子どもは「おしっこ、行ってきま～す」と手作り椅子の所でパンツ、ズボンを脱いでトイレに行ってから園庭に出ます。フープ、ぽっくり、ボールを出して自由に遊びます。保育士に手伝ってもらってぽっくりに挑戦する子どももいます。何人かは保育士と「むっくりくまさん」をして、声をあげて走っています。蟻を探してずっと下を見ながら歩いている子どももいます。子どもたちは思い思いの場所で遊んでいます。

食事の時間です。外で元気に遊んだので食欲旺盛でいきおいよく食べています。保育士に、手伝ってもらふ子もいますが、ほとんどの子どもはスプーンを上手に使って食べます。ごちそうさまのあとは仕上げ磨きをしてもらいます。口を拭いたタオルやエプロンは自分で汚れ物かごに入れに行きます。パジャマをそれぞれの袋から出して着替え、トイレに行ったあと、絵本を読んで静かに過ごします。

●3歳児クラス

朝の時間は幼児クラスと一緒に過ごしています。3歳児クラスに戻ると子どもたちは保育士の周りに集って、口々にいろんなことを話します。ひとしきり話をしたあと、保育士が「じゃんけんゲームをしましょう！」「先生はパーを出すから勝ってね」「負けてね」と話しますが、つられて同じ物を出す子がいたり、まだじゃんけんの勝敗や保育士とのやり取りが飲み込めていない子どももいます。

朝の会は日付、曜日、天気の確認のあと、出席を取ります。皆元気に返事をしています。「大きな栗の木の下で」「もみじ」「おはよう」の歌を元気に歌います。今日は4、5歳児と一緒に公園に行くことになりました。各自水筒を持ち並んで行きます。公園は木々の葉の色が変わり始めて、いろいろな色になっていることに気づいた子どもたちは「茶色のは枯れたのかなあ」など話しています。公園では枯れ木を手に綿あめにしてお店やさんごっこが始まります。アイスクリーム屋、フランクフルトもあります。「並んでください、葉っぱがお金です」「バニラアイスくださ〜い」「お買い物、お買い物」と嬉しそうに走って集ってきます。

●4・5歳児クラス

翌週、町内の老人会の方々とのお茶会に行くことになっています。みんなでハロウィンのかぼちゃをオレンジ色の折り紙で折り、リボンをつけメダルにしてプレゼントするように準備しています。今日は折り終わったかぼちゃに顔をそれぞれ描きます。みんな工夫して表情のある顔を描いています。制作の終わった子どもたちは好きな遊びをします。ウノをする子ども、ブロックで遊ぶ子ども、「お箸の練習をしているの」と箸で手作りの食材をつまんで並べている子ども、それぞれ仲良く好きな遊びをしています。全員の制作が終わったので、園庭に水筒を持って出ます。自由に遊んでいい、と言われましたが「氷鬼する人〜！」と言う声にみんな集まり、氷鬼が始まりました。鬼になった男性保育士がとてもダイナミックな動きで追いかけるので、みんなキャアキャア言いながら走って逃げています。転んでもすぐに起き上がり走ります。捕まえられても誰かに助けられ、また走ります。みんな顔を真っ赤にしています。「タイム！お茶！」と自分の水筒の場所に行き、一口飲んで息を整えて、また走り出します。しっかり身体を使って遊び部屋に戻ります。調理室の横を通ると良い匂いがしてきて、「今日なんのごはん？」「早く食べた〜い」など、口々に話し、給食を楽しみにする様子がうかがえました。

●誕生会

全クラスで集まり、誕生会をします。0、1歳児はエレベーターで、2歳児は階段で2階のホールに集ってきます。4、5歳児は椅子を持って集まります。10月生まれの子どもは色画用紙で作った冠をかぶって前に出てみんなの方を向いて座ります。担当の保育士が一人一人順番に紹介していき、「好きな食べ物は何か？」「大きくなったら何になりたいですか？」などインタビューします。その後、各担任が誕生カード（写真や身長、体重、メッセージ、手形が記されている）を見せながら、何歳になったか、その子どもの特徴や良い所を紹介します。紹介されているとき、子どもたちは静かによく聞いています。ほかのクラスでも顔や名前がわかる子どもが多いようです。紹介が終わると全員で「HAPPY BIRTHDAY」の歌を歌ってお祝いします。その後は担当保育士によるプロジェクターを使った影絵です。ハロウィンにちなんだ、コウモリ、かぼちゃ、おばけ、魔女の帽子などが次々出てきて、子どもたちは大喜び、大興奮でした。

◆ 事業者コメント ◆

パレット保育園・牛久保西は、「大きな家族」、「感性・知性・体力を培う三位一体のバランス保育」、「自立と自尊と自律」の保育理念を掲げています。

子ども達は、日々の生活を通して「思いやり」を育み、「生きる力」をつけています。

牛久保西園は昨年度開園した新しい園ですが、パレットグループとしてのノウハウを基に運営しています。

初の第三者評価ですが、職員全員が項目ごとに話し合い、振り返り、反省することで、自園について改めて見直すよい機会になり、新園ならではの課題も見えてきました。

利用者の方々の立場になって考えてみる、子ども一人ひとりの個性を大切に日々生活が送れているか、など再認識することが出来ました。

また、地域の特色を生かした運営にも気づく事が出来ました。

自分たちだけではなかなか気付けない部分や当たり前に行っていることを見直すなど新たに発見することができ、よりよい園運営へのヒントをたくさん頂きました。

今回の評価を最大限に活用し、今後も向上を目指していきたいと思えます。

福祉サービス第三者評価 評価機関

特定非営利活動法人 よこはま地域福祉研究センター

〒231-0013 横浜市中区住吉町二丁目 17 番地 金井ビル 201 号室

TEL : 045-228-9117 FAX : 045-228-9118

URL : www.yresearch-center.jp/ Email : top@yresearch-center.jp



かながわ福祉サービス第三者評価認証機関 第 26 号

横浜市福祉サービス第三者評価指定機関 第 17 号

川崎市福祉サービス第三者評価認証機関 第 14 号

横浜市指定管理者第三者評価機関 認定番号 25-01

東京都福祉サービス第三者評価認証評価機関 認証番号 機構15-232

全国社会福祉協議会社会的養護関係施設第三者評価機関 2510-002-02
